

6 商 工 費

8.811,217 円

商 工 費

○ 商 工 費

8,811,217 円

青梅線沿線並びに近隣市町村の商業の中心地と云われてきた当町も、立川、八王子市等大型化傾向が著しい先進商業地との競合を前によく新時代を迎えるに至った。町行政も、現在は、小口事業資金貸付と七夕を中心とした業務を行っているが、今後は、新分野の開拓が必要と思われる。

1. 商 工 業 振 興

(1) 小口事業資金

昭和45年3月までの申込件数は、30件で、貸付金945万円、利子補給金が159,361円であった。預託金融機関は、埼玉銀行福生支店、西武信用金庫福生支店、振興信用組合福生支店、福生町農業協同組合で、それぞれ100万円づつ400万円を預託している。また小口事業資金審査会を8名で構成し、審査委員会を12回開催した。

(2) 商工団体育成

商工団体としての、商工会が実施する商工振興事業に対し、150万円を補助し、商工会は、経営改善事業、商工業者の相談指導、経営の合理化、近代化、並びに個別指導、講演会、講習会の実施等商工業振興事業、金融対策事業、税務対策、福利厚生、広報、青年部活動の助成等を実施した。

2. 観 光

商工振興の一環として行なっている福生七夕まつりは、第19回を数え、8月7日から4日間催され、関東近県から数10万人の人出がみられた。